

一 般 質 問

平成28年9月12日（月）

10番 村 上 求 議 員

1. 土地開発公社について

①土地開発公社の解散は、将来に向けての財政リスク回避の一方で、市民の皆様の財産を大きく損ずる結果となりました。この、市民にも痛みを伴う公社の解散そして清算という、大変重い決断に至った市長の想いについて、伺います。

2. 道の駅について

①成功している道の駅の特徴として、何らかの独自性があり市からの繰入金なしで運営しています。このたび厚田地区に完成予定の道の駅のお客様を呼び込む為の目玉は何かを伺います。

②先日来季オープン予定である、当別町の道の駅の名称が発表されましたが、石狩市の道の駅は名称をどのように決めるのかを伺います。

③先日指宿市の道の駅を視察してきました。市からの繰入金なしで運営しておりました。PFIを取り入れて運営しておりましたが、市ではそのような考えをどう思うか見解を伺います。

3. ふるさと納税について

①先の一般質問にて、ふるさと納税額が支出が収入を上回った報告を受けました。なんらかの対処が必要との答弁でしたが、その後、どうなったのかを伺います。

4. 防災について

①先日防災キャンプが行われたと聞いております。そのキャンプの成果について伺います。また、継続し続けるべきだと思いますが、その考えも合わせて伺います。

②12月に冬季期間避難所運営訓練を予定していると聞いておりますが、その概要について伺います。

5. 教育について

①先日輪島市に視察に行っていました。その際にケーブルテレビを活用し、テレビ寺子屋を行っており、児童生徒の弱点克服、学習意欲や学力の向上、教職員の授業力の向上などにつながっていると伺いました。そのような取り組みに対しての見解を伺います。また、ケーブルテレビを導入するには多額な投資が必要となる為、私は現在あるツールを活用すべきと思います。そこで、えりすいしかりネットテレビを活用し、eラーニングでコストも新たな設備投資はかからないので、取り組むべきと思いますが、考えを伺います。

6. 職員の労働環境について

①先の定例会でも同僚議員からも質問がありましたが、残業の多い職員も居るとのことでしたが、現在の職員の健康状態が心配になりました。そこで職員の健康診断の受診状況と、どのように受診しているかを伺います。

7. 空き家対策について

- ①輪島市では、空き家対策と移住・定住促進策を平行に取り組んでいます。本市でも取り入れるべきと思ったのが、輪島市空き家データベースの活用です。是非参考にすべきと思いますが、市の見解を伺います。
- ②輪島市では移住促進住宅という建物があります。4年間限定ではありますが、家賃も安く住んでいただき定住を促しています。本市においてもそれらの考えを参考に空き家を活用する考えがないかを伺います。

8. 特産物の海外向けのセールスについて

- ①現在、北海道産の海産物は海外でニーズが特に高く、高値で取引されるとのことです。そこで伺います。今後において、地産地消も大切ですが1円でも高く買い取ってもらえる方が、生産者にとってはありがたいと思います。音更町などの様にもう少し海外セールスに力を入れた方が良いと思いますが、考えを伺います。

12番 和田 川 義 議員

1. 市制施行20年の総括と展望

- ①財政的展望について
財政の厳しい中、事業の見直しに取り組むと共に、各種の改革を進め財政の健全化に向け取り組んできたと考えるが、今後の財政的見通しについて伺います。
- ②地域振興について
市制施行後、3市村の合併を経て、現在はそれぞれの特色を生かした地域づくりが進められているが、今後、地域自治の観点も含めたまちづくりをどのように進められる考えか伺います。
- ③重点的施策
これまで「市民協働」や「子育て」など、市民と共に、または直接結びつくような施策を進め成果を挙げているが、今後のまちづくりのテーマとなるような施策のお考えがあるか伺います。

2. 防災について

- ①これまで経験のないような異常気象とも言うべき状況が見られる中、市の対策の現状と今後の対策についての考え方を伺います。

3. 教育行政について

- ①教育に対する考え方について
時代の価値観が変化する中、教育にも英語教育や道徳の教科化など、新たな取り組みも含め改革が求められていますが、人を育てる上で根本となる考え方はしっかりと持つべきと思いますが、石狩市として大切にしている考え方を改めて伺います。

1. マイナンバーカードの普及促進について

- ①現在までの石狩市における個人番号カードの交付状況について
- ②市における個人番号カードの交付の目安は
- ③市における個人番号カードの普及の取り組み
- ④申請機能付き証明写真機の市役所設置について

2. 食品ロス削減に向けての取り組みについて

- ①学校や幼稚園などの教育施設における学校給食や食育・環境教育を通して食品ロス削減のための啓発を進めるべきと思いますが、現状と取り組みについて伺います。
- ②市民、事業者、市役所などが一体となり取り組むことが重要と思いますが、市としての考えを伺います。
- ③市内におけるフードバンクの取り組みの実態について

3. マンホールトイレの普及について

- ①現状の石狩市のマンホールトイレの在り方について
- ②今後の整備の考えについて
- ③市の避難所におけるトイレの認識について

4. 石狩市内の都市公園の見直しについて

- ①公園施設長寿命化計画の対象に選定されなかった23箇所の公園の取り扱いについて
- ②街区公園における遊具の有無について
- ③遊具が無く軽い運動が出来るスペースを持った公園
- ④一部の公園にある高齢者などのための運動器具を備えた公園の増設について
- ⑤一時的に避難場所にもなる公園も含め、とりわけ、指定緊急避難場所になっている公園の機能の整備（ベンチがかまどになる等）

5. 中学生を対象としたピロリ菌検査と除菌について

- ①石狩市としての認識と事業の実施について
- ②学校現場でのがん教育の取り組みについて

1. 社会保障制度全般的な後退の流れと市の対応について

国は今後毎年社会保障費の「自然増」3,000～5,000億円の削減を閣議決定している。その内容はこれまでの後退分と合わせると大変深刻である。以下、市の対応について伺う。

①医療制度

地域医療構想の早急な策定を自治体に求めている。北海道全体の病床数82,703床を73,190床とする計画が明らかにされているが、市域における影響はないのか。「地域医療構想調整会議」の動向と合わせ市の対応を伺う。

②介護制度

要支援1、2の総合事業移行は来年度4月実施の予定だが、これまでのサービス水準は維持されるのか。新たな独自サービスは予定しているか。報酬基準をどうするか、サービス区分は設定するのか、基準緩和はないのか、チェックリストのみの判定はないのか、人的体制など後退要素が発生しないサービス提供を求める。

また、要介護1、2の施設入所締め出しによってどのような影響が出ているか。介護報酬の引き下げによる市内事業者の影響についても示されたい。

要介護1、2の訪問介護サービスの削減や介護福祉用具の貸し出し負担などの後退も計画されている。どのように対応するか。

③後期高齢者医療制度

後期高齢者医療保険料軽減特例の撤廃と2割負担導入の計画がされているが、市の対応を伺う。

2. 水道料金引き下げの検討を

石狩西部広域水道企業団は来年度から供給単価を1トンあたり3円の引き下げを予定している。市民への還元として市の料金も引き下げすべき。

3. し尿汲み取り料金値上げについて

し尿汲み取り料金改定が計画されているが、高齢年金生活者の多い浜益区の住民に大きな負担となる。引き上げについて再検討を求めたい。

4. 地域防災力の強化について

全国で災害が発生している。その場合、消防団の役割は一層重要になっている。その訓練と出動の拠点である詰所が浜益区の川下柏木地区にはいまだに設置されていない。早急な対応を求める。

5. 子育て支援について

以前から取り上げてきたが、保育料の軽減と保育士の処遇改善に対するこれまでの検討状況と実施を求めたい。

1. 石狩市のエネルギー政策

- ①石狩新港地区エネルギー企業誘致の状況(優遇措置実績、見込みを含む税収など)と集積にいたる経緯と、今後の方針について伺う
- ②再生可能エネルギーの促進の考え方について伺う
- ③新エネルギービジョン見直しと、参入事業者規制のための条例、計画の策定の考えについて伺う
- ④既存の事業開始後の市民からの苦情・要望への対応と、新規参入事業の市民との合意形成のための努力を、市としてどのように行っていくのか明確にしてほしい

2. 地域共生社会に向けて

- ①次年度からの介護予防・日常生活支援総合事業の具体的取り組みについて伺う。また、地域での支え合いの仕組みづくり、協議体の目的について伺う
- ②地域での共生型拠点の取り組みの考えについて伺う
- ③生活困窮者、困窮家庭への支援取り組み状況と、今後の事業展開について伺う
- ④社会福祉協議会との連携について伺う

3. 原子力発電所に関すること

- ①経済産業省の自治体向け「高レベル放射性廃棄物の最終処分地」説明会が5月に札幌で行われたが、石狩市は参加したのか。また、市として現状でどのような情報を把握していて、どのような見解にいるのか伺う
- ②泊原子力発電所の安全対策等に関する石狩市民向けの地域説明会の開催を、市として強く求めてほしい